



2023年
日本聖公会宣教協議会
ぶどうの枝だより 11
最終号

宣教協議会 速報

十一月十日(金)〜十三日(月)までの日程で、清泉寮にて、2023年日本聖公会宣教協議会が開催されました。各教区から、また管区諸委員会から信徒と聖職一三二名が集まり、「いのち、尊厳限りないもの」となりびととなるために「〜」をテーマとしてプログラムを持ちました。

「実り持ち寄り」

ブースの紹介

このプログラムでは、前回の宣教協議会から現在までの各教区や管区諸委員会の働きにおいてどのような実りがあったのか、また現在の課題は何かをブースの展示を通して分かち合いました。

「私たちのあゆみ」

「物語を聴く」

三つの教会の信徒の皆さんのお話をお聴きしました。三つの教会は信徒数の少ない教会ですが、それぞれの教会で豊かな信仰生活が営まれていくことが分かち合われました。

「いのちの現場から聴く」

5人の語り手の皆さんから「となりびと」と出会い(あるいは当事者として仲間とともに歩み始め)、今も一緒に歩み続けている物語をお聴きしました。

「主教会からのメッセージ」

「宣教協働区アワー」

武藤謙一首座主教から、宣教協働区・伝道教区制導入の経緯についてお話がありました。また他の主教からは、「この世界の中で『となりびと』となるために大切にしたいこと」、「この世界における宣教・牧会で大切にしたいこと」、「宣教協働・教区再編において大切にしたいこと」というテーマでお話がありました。その後、各宣教協働区グループに分かれて交わりの時を過ごしました。

2回にわたる「グループシェアリング」では、小グループに分かれ、前半は、それまでのプログラムの感想を述べ合い、後半は、最終日の「宣教協議会からの呼びかけ」作成に向け、「私たちが、神様の招きに対して応答できなかったことは何か」「私たちは、招きにどう応えていくか」が話し合われました。

最終日に、ドラフトコミットメンバーによる「呼びかけ」案をもとに意見交換が行われましたが、時間内では収まらず、その場で最終的なものにまとめることは難しいとの結論となりました。「呼びかけ」はドラフトコミットメンバーが改めて案を作り、参加者の合意のもとに正式なものとして出される予定です。宣教協議会の録画映像は、「日本聖公会宣教協議会ブログ」から現在でも視聴可能です。ぜひご覧ください。

(文責:司祭 北澤 洋)

